

## 第21回年次大会金沢大会開催に向けて

日本デイケア学会 第21回年次大会 大会長 松原 三郎  
社会医療法人財団松原愛育会松原病院理事長

日本デイケア学会第21回年次大会は、2016年10月13日(木)、14日(金)金沢歌劇座(金沢市本多町)を会場に開催することになりました。石川県では第8回年次大会 加賀市での開催以来となり、10年以上ぶりの石川県での開催となります。大会準備はデイケアスタッフをはじめ、地域活動支援センターや就労サービス事業所等の様々な職種と共に鋭意進めているところです。

今大会のテーマは「地域に選ばれ地域と生きるデイケア～未来にかがやきを～」です。地域にはデイケアのみならず、就労系サービスを中心に就労支援A・B型事業所、生活訓練など総合支援法のサービスが少しずつ整いつつあります。このような中で、デイケアにできること、デイケアにしかできないこと、等デイケアの役割を再認識し、地域と連携して利用者の未来を協働して支援していくことを考えたい、と今大会のメインテーマとして掲げました。

精神科デイケアは日中の居場所の機能のみならず、生活能力の回復の場として、就労へのつながりを持つ場として、など様々な役割があります。対象者を限定して専門性を持たせ、若年層を対象としたデイケアや認知症対応のデイケア、復職支援のデイケアなど分化もみられています。そのことで治療的効果やプログラムの充実もみられています。日々利用者に関わり、

デイケア内で様々な取り組みをしているスタッフはデイケアだからこそできることを実感していることと思います。

デイケアも紛れもなく地域の社会資源のひとつであり、それぞれの地域の特性を踏まえつつ、相談支援事業所や各サービス提供事業所と共に利用者の今後について連携協議していくことが求められているといえるでしょう。お互いの機能を知り、その機能を高めていく必要性があります。地域に生きる利用者が未来にかがやくには何が必要なのか、を日々の実践の中から検証していかなければならないでしょう。

それらの協議や発信をこの金沢大会で大いにいただき、デイケア全体の進展、ひいては地域充実につなげていきたいと考えています。

さて、地元金沢は2015年3月に開通した北陸新幹線の影響で、人の流れが新たになり、各メディアに取り上げられる機会が大幅に増えました。大変な賑わいの中、活気ある金沢の地が年次大会に選ばれたことで、デイケアに携わる皆様にとって新しい刺激となり、かがやきをさらに認められる大会なることを望んでいます。皆様のご参加をお待ちしております!

# 第20回年次大会大阪大会を終えて

日本デイケア学会第20回年次大会 大会長 三家 英明  
医療法人 三家クリニック

日本デイケア学会第20回年次大会は、関西では初めての開催で、平成27年10月23, 24日と大阪国際会議場(グランキューブ大阪)において、1200名を超える参加者を得て、盛況のうちに無事に終えることができました。第20回という節目に大阪での開催の機会を与えていただいた窪田彰前理事長には大いに感謝しています。

大阪大会では、大会テーマを「つなごう！人に地域に明日に、そして希望に」として、仲間や地域、未来につないでいける開かれたデイケアのあり方、方向性をイメージしながら、逆風の中にあるデイケアの意義と有効性を私たち自身が再確認する機会となることを期待しました。また、デイケア学会の開催を機に、地元のデイケアの現場をより活性化し、またデイケアや関係機関との交流を活発にするチャンスとしたと考え、現場スタッフの集まりである大阪デイケア連絡会の山崎勢津子氏に実行委員長をお願いして実行委員会を組織しました。運営委員会は本学会前理事の富澤宏輔氏に委員長に就任願ひ、広く精神科病院、診療所、大学病院等でデイケアに関与されている諸先生方に運営委員をお願いして、毎月、委員会を開催しました。これにより、多くの知恵と労力を提供いただき、盛りだくさんで、内容豊かな大会を準備することができました。

大会当日は、特別講演をお願いした松嶋健先生、教育講演をお引き受けいただいた諸先生、市民公開講座での夏苺郁子先生、また数多くのシンポジウム、当事者研究をはじめとしたワークショップ等にも、実に多くの方々にご登壇いただき、どの会場も盛り上が

り、大会テーマを肉付けする期待通りの充実した大会となりました。懇親会にも200名が参加して、情報交換し合い、大いに懇親を深めることが出来ました。また、今回は、初めての試みで2日目のプログラムについて、参加費を安く設定して、当事者・家族の参加を促したところ、140名の参加があり、ワークショップは賑やかなものとなりました。

私たち主催者は、会場を後にされる参加者の皆さんを見送りながら、それぞれに、明日からの希望につながる大阪土産を持って帰っていただいていると思われ、大会を引き受けたかいがあったと感じ入った次第です。大会が終わってから、各方面から「大成功でしたね」との声をかけられることが多かったのですが、成功したかどうかの答えはまだ出ておらず、今後、各地で、その大阪土産をいかに深化、発展させていただけるのか、現場に戻られた参加者の現場での活躍を待つしかないと考えていますので、ぜひ、会員の皆さんが各地で切磋琢磨されんことをお願いする次第です。

最後になりましたが、今大会のために、様々に力を貸してくださった全ての方々、全国から参集して大会を盛り上げていただいたの方々、支援の手を差し伸べてくださった方々に、改めて深謝いたします。

どうもありがとうございました。

## 日本デイケア学会 第21回年次大会金沢大会のご案内

大会テーマ

**「地域に選ばれ地域と生きるデイケア  
～未来にかがやきを～」**

大会長

**松原 三郎** (社会医療法人財団松原愛育会松原病院理事長)

大会URL

<http://www.daycare21.jp>

会期

**2016年 10月13日(木)～10月14日(金)**

会場

**金沢歌劇座** (金沢市下本多町6-27)

演題募集について

・デイケアに関する演題を広く募集いたします。  
募集期間：2016年4月18日(月)～5月23日(月)  
募集要項につきましては、大会ホームページをご参照ください。

事前参加登録について

・登録期間 2016年4月18日(月)～8月31日(水)  
詳細につきましては、大会ホームページをご参照ください。  
また、会期当日から週末にかけては市内の宿泊施設の混雑が予想されます。  
ご自身での確保を予定されている場合は、お早めの予約をお勧めします。

懇親会について

・日時：2016年10月13日(木) 18:00～20:00  
・会場：しいのき迎賓館 2階ガーデンルーム  
(石川県金沢市広坂2-1-1)  
・参加費：5,000円 ※大会参加と一緒に申し込みください。

学会主催研修会

年次大会終了後、研修会を実施いたします。  
年次大会の参加とは別に、お申込みが必要となります。  
※詳細はホームページにて順次掲載します。  
お問合せ先：日本デイケア学会事務局  
TEL: 03-3813-6368 FAX: 03-3813-6368

研修単位の  
認定について

・本大会は日本精神神経学会専門医資格更新にかかる単位の取得ができます。

連絡先 【大会事務局】

社会医療法人財団松原愛育会松原病院  
〒920-8654 石川県金沢市石引4-3-5  
TEL:076-231-4138 FAX:076-231-4110  
E-mail:daycare21@nex-tage.com

【運営事務局】

株式会社ネクステージ  
〒920-0059 石川県金沢市示野町南45番地  
TEL:076-216-7000 FAX:076-216-7100  
E-mail:daycare21\_office@nex-tage.com

## デイケア 西から東から、北から南から…

# 日本デイケア学会第20回年次大会大阪大会に参加して

白窪 澄隆

去る10月23日(金)・24日(土)、大阪市にて第20回大会が開催され当院から2名が参加しました。

大会前日に行われた三家クリニックの施設見学に1名参加がすることができました。デイケアの充実や、参加されている方々の活気に触れ、自身の日々の振り返りや新しい取り組みへのアイデアなど多くの収穫を得、大会前日とはいえその興奮を熱く語ってくれました。

今回大会会場となった大阪国際会議場は2本の川の中州にあり大阪城を臨む水の都大阪を象徴するロケーションで例年通り多くの参加者の熱気にあふれ皆さんのデイケアへの熱い思いを感じ大会への期待を膨らませました。

開会式、会長講演、特別講演をはさみ午後からのシンポジウムでは「エビデンス」、「居場所」、「スポーツ」、「プログラム」など多くのテーマで講演が行われました。

シンポジウムV「デイケアの未来を語る」でパネラーの先生方も話されていましたが当院デイケアの開設当時は「再発防止、居場所」としての役割が大きくりカバリーの意識は低かったと記憶します。しかし、デイケアができたことで生活者として接する機会が増えたことで当事者が地域で生活するために必要とされるスキルを得るプログラムへの変化であったり就労への支援あるいはデイケアに留まらず自宅への訪問支援など様々なニーズと課題に直面しそれに合わせ診療所の形態も変化していくことになりました。シンポジウムの中で話の有った診療所の多機能化は当院も目指すモデルとして取り組んでいる最中であり、ます。デイケアを開設した20年前に比べプログラムや支援の内容など時代の変遷を経験し今回のお話を拝聴

するとデイケアはこれからの精神科にとって大きな可能性を持つ欠かせない機能であることを確信しました。

大会2日目の分科会では当院の就労継続支援について発表しました。昨今の障害者就労支援の充実に伴い就労する機会は増えましたが事業所を転々としたり続かなかったりする方の相談を多く聞きました。そして当事者が仕事を継続できるための支援をデイケアで行えないかと検討し、実践した就労支援プログラムについて会場でいただいたご意見を参考に今後も継続して取り組み当事者の方々の声に答えられるプログラムに育てていきたいと思

います。最後に多忙の中大会運営にご尽力くださった運営・実行委員の皆様、大変貴重な機会をいただきありがとうございました。

(医療法人修誠会 たばたメンタルクリニック 看護師・精神保健福祉士)



## デイケア 西から東から、北から南から…

# こんにちは、兵庫県たつの市の介護事業所『赤とんぼ(K&K株式会社)』です

沖嶋 今日太

当法人は、武家屋敷や白壁の土蔵が今も残っている“播磨の小京都”と呼ばれる兵庫県たつの市に位置する介護事業所です。身体障害分野、精神障害分野での臨床経験を経て、現在は作業療法士の養成大学で教員をしているそれぞれの分野の作業療法士2人で、平成23年8月から、リハビリに特化した半日型の小規模通所介護施設を皮切りとしてスタートしました。現在は1日型の通常規模通所介護施設、居宅介護支援事業所、訪問看護リハビリステーションも加わり、4事業所を運営しながら、より求められる介護事業所を目指し、職員一同努力しています。

そもそも大学教員をしながら、各々の専門分野も全く違った作業療法士2人が、なぜ高齢者の介護事業を一緒に始めたのか?と疑問に思われるかもしれませんが、我々にとっては至極当然のごとく介護事業を開始しました。

介護保険制度が導入された際、その目的である“介護を必要とする高齢者の自立した生活を社会全体で支える”ために、必要とされる作業療法士を養成すべき我々としては、これまでのように医療現場ばかりでなく、より地域を見据えた教育をしなければならないと考え、遠巻きに介護現場の動向にも目を向けていました。しかし、残念ながら本来の趣旨とは違ったサービス(カラオケ喫茶、温泉ランド、カジノ…)提供を特色としている通所介護施設、あるいはレスパイト的要素ばかりが強調され、対象者自身の自立支援や機能回復にはつながり難いサービス提供を優先している通所介護施設が増え続けている印象を受け、入院治療の対象ではないが、在宅生活を

送っていく上で、リハビリを必要としている高齢者が利用したいと思える通所介護施設が少ないと感じていました。更には、より超高齢社会へと移行していく我が国の将来にとって、改めて医療・介護現場へ出ていく以前の人材育成の重要性、我々が学生に何を伝えるべきかが大切だと感じていました。しかし、残念ながら我々が学生に伝えることが出来るのは、目の前に対象者がいる“現場”ではなく教室の中が殆どであり、実際の対象者や家族と同じ目線を持てる作業療法士を育成するために、我々が考える介護サービス提供場面を直接感じてもらうためには、我々自身が誇れる介護事業所を作ることが最も効果的だと考え、通所介護施設を開設するに至りました。

勿論、当事業所を利用されている対象者やそのご家族、ケアマネジャーや関係職員の皆さんから求められる事業所でなければ、現場での人材育成も出来るはずはありませんが、事業開始から5年目となり、幸いにもリハビリだったら当事業所と地域でも認知されるようになってきました。

今後は更なる“質”の向上を目指し、人材育成・組織作りに尽力していきますので、良いご意見・ご助言等ございましたら、是非ともご連絡いただければ幸いです。

(龍野デイサービスセンター赤とんぼ(K&K株式会社)、  
姫路獨協大学 医療保健学部 作業療学科 作業療法士、精神保健福祉士、介護福祉士)

---

# 精神科リハビリテーション評価表(日本デイケア学会)使用についてのお願い

日本デイケア学会 理事長 原 敬造  
原クリニック

日本デイケア学会では、精神科デイケアを含む精神科リハビリテーションについての評価尺度を作成しました。

この尺度は、様々な精神科リハビリテーションを利用している方の現状を把握するのに有効な尺度であることが、GAFやLASMIとの比較研究で確認されております。この尺度を有効に活用されることをお願いいたします。

1. 評価尺度をカスタマイズすることには学会の許可は必要ありません。各機関の状況に合わせて項目を追加してください。各調査を比較するために、評価項目を削除することは許可いたしません。
2. 使用に当たっては、リハビリを開始して1か月以内に最初の評価をすることを推奨します。その後は、少なくとも6か月ごとに再評価をお願いします。
3. 入院時、終了時には、必ず評価を行ってください。その際転帰の記載をお願いします。
4. 評価表を活用した長期予後調査にご協力ください。

---

## 日本デイケア学会主催研修会のお知らせ

### 「効果的なデイケア活動の実践」

日時：2016年5月8日（日）10：15～16：00（受付開始10：00）

午前：「デイケアの力を活かすー認知機能リハを中心にー」（帝京大学：池淵恵美）  
午後：「効果的なデイケア活動についてパネルディスカッションと実践例」（予定）

会場：錦糸町クボタクリニック5階ホール（東京都墨田区錦糸3-5-1 錦糸町北口ビル）

参加費：日本デイケア学会会員：4,000円（非会員5,000円）

※申込、研修会案内は、日本デイケア学会ホームページより  
<http://www.daycare.gr.jp>

## 日本デイケア学会役員

**理事長**：原 敬造

**副理事長**：五十嵐良雄、古屋龍太

**理事**：池淵恵美、内野俊郎、大丸 幸、小田良光、窪田 彰、熊倉徹雄、栗原 毅、坂井一也、佐々木裕光、関 健、高尾由美子、友國由美子、中野英子、西村良二、林みづ穂、肥田裕久、藤田さより、松永宏子、三家英明、四本かやの、渡辺克徳、渡邊文宏

**監事**：浅野弘毅、竹中秀彦

**事務局長**：小野寺敦志

**評議員**：(地区別、五十音順)

北海道・東北地区●熊倉徹雄 (DR)、中野英子 (PSW)、林みづ穂 (DR)、原 敬造 (DR)

関東地区●五十嵐良雄 (DR)、池淵恵美 (DR)、窪田 彰 (DR)、栗原 毅 (心理)、肥田裕久 (DR)、古屋龍太 (PSW)、松永宏子 (PSW)

中部地区●坂井一也 (OT)、藤田さより (OT)

北陸・信越地区●小田良光 (PSW)、渡邊文宏 (NS)

近畿地区●三家英明 (DR)、四本かやの (OT)

中国・四国地区●友國由美子 (OT)、渡辺克徳 (心理)

九州地区●内野俊郎 (DR)、佐々木裕光 (DR)、西村良二 (DR)

高齢者全国区●大丸 幸 (OT)、関 健 (DR)、高尾由美子 (PSW)

(任期：平成 29 年度総会まで)

## 委員会 (会則第 13 条により、理事長が理事会に諮り設けられた委員会)

**組織委員会**：古屋龍太 (委員長)、内野俊郎、大丸 幸、小田良光、渡邊文宏

**広報委員会**：林みづ穂 (委員長)、友國由美子、肥田裕久、松永宏子

**研修委員会**：坂井一也 (委員長)、池淵恵美、栗原 毅、関 健

**編集委員会**：西村良二 (委員長)、稲毛義憲、大沼幸子、荻澤健志、小野寺敦志、熊倉徹雄、齋藤敏靖、高尾由美子、中野英子、四本かやの

**査読委員**：浅野弘毅、岩下 覚、工藤神威、是恒正達、松永宏子

**調査研究委員会**：五十嵐良雄 (委員長)、窪田 彰、佐々木裕光、藤田さより、三家英明、渡辺克徳

(任期：平成 29 年度総会まで)

# 日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、老人デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正 会 員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円(登録者名の変更は適宜可能)

(3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください)

振 込 先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL & FAX : 03-3813-6368

E-mail : info@daycare.gr.jp URL : http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線 (ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。) -----

## 入会申込書

申込日 平成 年 月 日

(正会員用)

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日
----	--	----	-----	------	----------	---	---	---

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	( )
--------	---	------	-----

(団体会員用)

団体名		代表者	
-----	--	-----	--

所在地	〒		
-----	---	--	--

種別		TEL	( )	FAX	( )
----	--	-----	-----	-----	-----

会員登録(計 名) ※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ